

平成25年度  
東京都中学校美術教育研究会  
総会議案書



平成25年  
5月21日(火)

14時20分～16時40分

東京芸術劇場 大会議室



## 総会式次第

### ■開会の言葉

### ■会長挨拶

### ■祝辞 東京都教育委員会

### ■議長団選出

- ・第1号議案 平成24年度 活動報告に関する件
- ・第2号議案 平成24年度 決算報告に関する件
- ・第3号議案 平成25年度 役員選出に関する件
- ・第4号議案 平成25年度 活動方針に関する件
- ・第5号議案 平成25年度 予算に関する件

### ■議長団の解任

### ■平成25年度 東京都中学校美術教育研究会 第2ブロック大会（兼全造連東京大会）に関して

### ■閉会の言葉

## 研修・講演会

15:20 ~ 16:10

### テーマ 仮題 「新しい芸術表現と美術教育」

### 講師 折元立身（おりもとたつみ）氏

1946年神奈川県生まれ。70年代にナム・ジュン・パイクに師事し、前衛芸術活動であるフルクサスに参加。病気を患った母をみるためにNYより帰国し、その母との介護生活を「Art-Mama（アート・ママ）」と題し2001年ヴェネチアビエンナーレにて発表。世界的に評価される。その他の代表作としてパンを顔にくくりつけたパフォーマンス「Bread-Man（パン人間）」がある。

- 2000年 東京の原美術館で個展開催。
- 2001年 ヴェネチア・ビエンナーレ（アペルト展）に招待参加。
- 著書 WORKS OF TATSUMI ORIMOTO 折元立身の仕事（青幻舎）

## 目次

会則	.....	(1)
平成24年度 東京都中学校美術教育研究会 活動報告	.....	(2)
平成24年度 決算報告	.....	(3)
平成25年度 東京都中学校美術教育研究会 組織・組織図	.....	(4~5)
平成25年度 東京都中学校美術教育研究会 活動方針(案)	.....	(6)
平成25年度 年間活動計画(案)	.....	(7)
平成25年度 収支予算(案)	.....	(8)
東京都中学校美術教育研究大会の運営について	.....	(9)
都中美 研究ブロック区分	.....	(10)
都中美大会 一覧表	.....	(11)

# 東京都中学校美術教育研究会 会則

- 第 1 条 本会は東京都中学校美術教育研究会といい、事務局を事務局長在任校に置く。
- 第 2 条 本会は東京都中学校美術教育研究会の研究並びに会員相互の親睦を図ることを目的とする。
- 第 3 条 本会は東京都中学校各地区美術教育研究部を母体とし、中学校美術教育に関係ある教職員を会員として構成する。
- 第 4 条 本会員は役員会を運営の中核とし、第 2 条の目的を達するための専門部を置き、次の事業を行う。その他必要に応じた特別委員会を置くことができる。

## [専門部]

- (1) 教科研究部
- (2) 広報部（書記を兼ねる）
- (3) 行事部

## [事業]

- (1) 美術教育に関する調査研究ならびにその発表
- (2) 協議会、講習会、展覧会、視察、見学、研究事業
- (3) 意見の公表ならびに建議
- (4) 会員相互の親睦
- (5) その他本会の目的達成に必要な事業

- 第 5 条 本会は次の役員をおく。
- ・会長 1 名
  - ・副会長 必要数
  - ・事務局長 1 名
  - ・会計 2 名
  - ・専門部に担当副会長をおく
  - ・専門部長 各 1 名
  - ・専門部副部長 各若干名
- 第 6 条 各区市町村で選出された部長は、都中美本部との連絡・調整にあたる。
- 第 7 条 本会は役員会の推薦により顧問をおくことができる。
- 第 8 条 本会に監査 2 名をおく。
- 第 9 条 本会は年 1 回年度当初に総会を開く。なお必要あるときは臨時総会を開くことができる。
- 第 10 条 本会は運営を円滑に行うため、必要に応じて次の会議を開く。
- (1) 役員会
  - (2) 各専門部会
  - (3) 地区部長会
- 第 11 条 本会は、東京都中学校教育研究会よりの会費で運営される。
- 第 12 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌 3 月 31 日で終わる。
- 第 13 条 本会の毎年度予算、決算は総会の決議を経るものとする。

- 附 則
- (1) 本会の会則は総会の決議を経なければ変更することはできない。
  - (2) 本会会則は昭和 22 年 11 月 3 日から実施する。  
平成 20 年 5 月 23 日 改正  
平成 23 年 5 月 26 日 一部改正



## 平成24年度 東京都中学校美術教育研究会活動報告

月 日	活 動 内 容	
5月10日	都中美 役員・事務局会 24年度総会準備	(墨田・両国中)
5月25日	総会・研修会 23年度活動報告・決算報告、24年度活動方針・組織・予算計画 講演「美新しい美術表現を美術教育に取り入れる」 講師 明治学院大学非常勤講師 鈴木康広 氏	(なかの ZEROホール)
6月25日	25年度都中美大会準備会(異校種間連携会議) 校種間連携・情報交換等	(墨田・両国中)
6月30日	都中美事務局会議 関東甲信越静地区都県代表者会議(近隣県との連携・情報交換)	(墨田・両国中)
7月23日	都中美夏季研修会 研修テーマ・「造形美術教育における他校種との連携」 □午前 講師 文部科学省教育課程課教科調査官 東良雅人氏 □午後 講師 東京都教育庁指導部指導企画課 松永かおり指導主事 東京都教職員研修センター 明石典子指導主事	(中野・中野中)
7月24日	都中美夏季研修会 研修テーマ・「美術館を活用した授業の工夫」 講演・指導 講師 東京都美術館主任研究員 稲庭彩和子氏 指導 東京都教職員研修センター 明石典子指導主事	(東京都美術館)
8月 1日 ～3日	第65回 全国造形教育研究大会 沖縄大会 大会テーマ・「太陽の島から発信する造形教育」 授業提案者 八王子市立栢田中学校 畠山真理教諭 指導助言者 葛飾区立大道中学校 殿村靖廣校長 大会参加者 役員等12名	(沖縄県浦添市 浦添中学校)
10月10日	25年度都中美大会準備会(異校種間連携会議) 校種間連携研究協議会	(墨田・両国中)
11月 8日 ～9日	第52回 関東甲信越静地区造形教育研究大会 埼玉大会 大会テーマ 「みつめよう子どもの心 育てよう確かな力」 授業提案者 中野区立中野中学校 松尾恵美教諭 指導助言者 日野市立三沢中学校 正留久巳校長 他8名参加	(埼玉県所沢市)
11月16日	第30回東京都中学校美術教育研究会第1ブロック品川大会 大会研究テーマ「美術教育の今」 —創造活動の資質能力を考える— 会場 品川区立富士見台中学校 記念講演 講師 千葉大学名誉教授 藤澤英昭氏	(品川・富士見台中)
12月26日	教科研究部会 本年度の反省と次年度の研修について 都中美 会長・副会長研修会 25年度活動方針と組織について、情報交換等 25年度都中美大会準備会(異校種間連携会議) 校種間連携 研究について	(墨田・両国中)
1月29日	平成25年度都中美大会2ブロック大会兼全造連東京大会準備研修会	(墨田・両国中)
2月8日 ～14日	公立学校美術展(都展) 8日搬入 8・9・10・11・12・13・14日会期 14日搬出・片付け	(東京都美術館)
2月14日	校種連携会議 平成25年度都中美大会2ブロック大会兼全造連東京大会準備研修会	(墨田・両国中)
3月 13日	25年度都中美大会準備会(異校種間連携会議) 校種間連携・情報交換等	(墨田・両国中)

# 平成24年度 収支決算報告

## 収入の部


科目	予算額	収入額 (円)			備考
		収入済額	収入未済額	計	
会費	808,000	808,000	0	808,000	都教育研究会より分担金
補助金	0	0	0	0	
寄付金	0	0	0	0	
雑収入	0	0	0	0	
前年度繰越金	2,211	2,211	0	2,211	
その他繰越金	0	0	0	0	
合計	810,211	810,211	0	810,211	

## 支出の部

科目 (経費の区分)	予算額	支出額 (円)			備考	
		支出済額	支出未済額	計		
補助事業に要する経費	諸謝金	35,000	35,000	0	35,000	研究会講師謝礼
	旅費	180,000	159,000	0	159,000	沖縄大会役員派遣費
	借料・損料	0	0	0	0	
	印刷製本費	300,000	300,840	0	300,840	1ブロック大会費
	会議費	10,000	10,000	0	10,000	研修会会場借用費
	消耗品費	33,000	26,975	0	26,975	事務用封筒等
	通信運搬費	8,000	8,000	0	8,000	資料発送費
	小計	566,000	539,815	0	539,815	
	諸謝金	0	0	0	0	
	旅費	0	0	0	0	
研究調査	資料費	20,000	16,000	0	16,000	研究大会資料費補助
	印刷製本費	0	0	0	0	
	貸金	0	0	0	0	
	会議費	15,000	15,000	0	15,000	都教育研究会参加費
	消耗品費	16,000	18,006	0	18,006	事務用印刷紙・ラベル等
	通信運搬費	5,000	5,000	0	5,000	H P 接続料
	小計	56,000	54,006	0	54,006	
研究用図書	図書購入費	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	
	印刷製本費	8,000	8,000	0	8,000	名簿印刷費補助
研究刊行成果	通信運搬費	10,000	10,612	0	10,612	刊行物運搬費
	小計	18,000	18,612	0	18,612	
計	640,000	612,433	0	612,433		
その他事業費・事務局費	170,211	196,318	0	196,318	団体加盟費・名簿作成費等	
合計	810,211	808,751	0	808,751		

翌年度繰越金 1,460 円


東京都中学校美術教育研究会

会長 菊田 寛 

会計 前田 正康 

木村 祐子 

監査の結果、正確に執行されていることを認めます。  
東京都中学校美術教育研究会

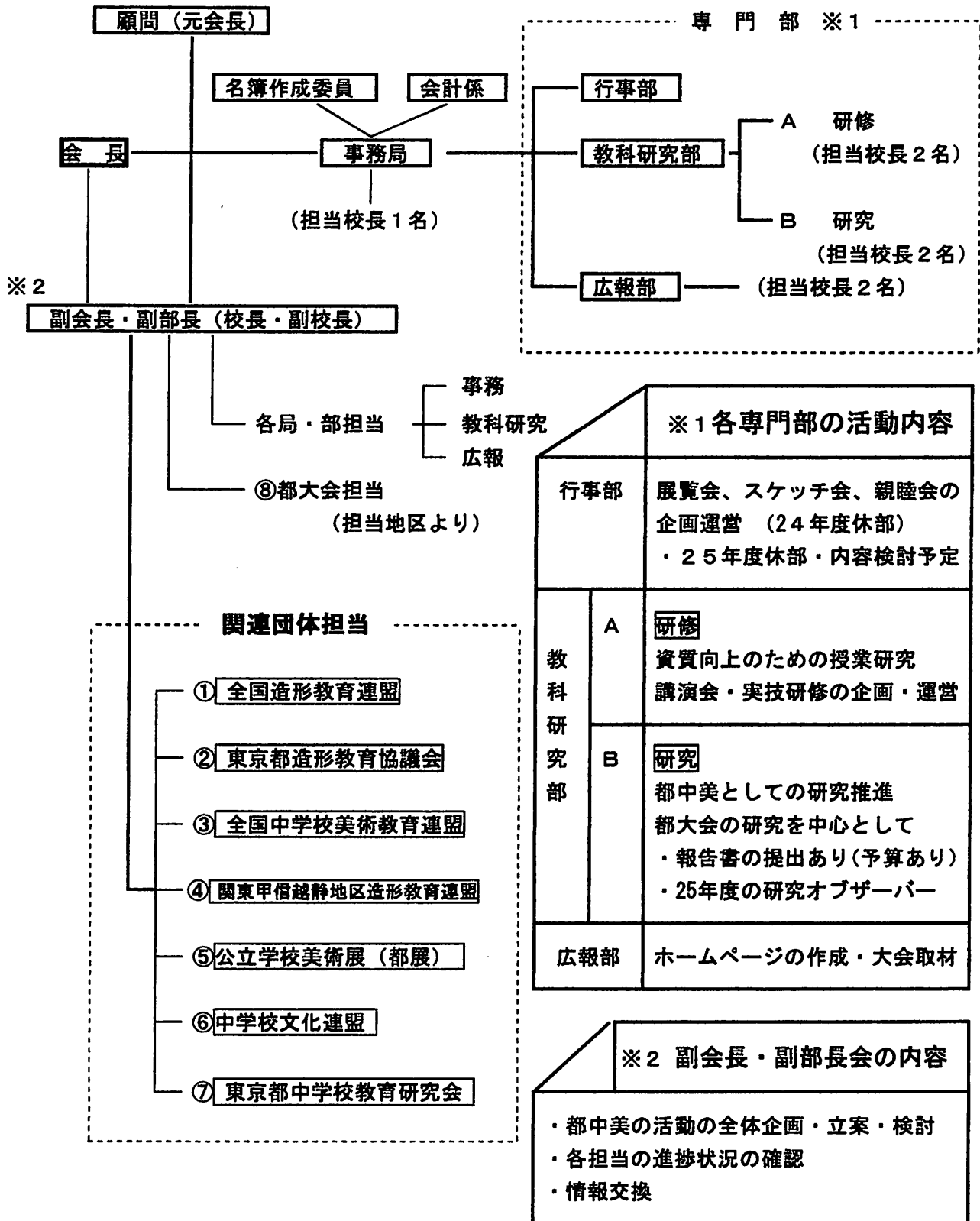
会計監査 古田 博 

会計監査 林 憲 

# 25年度 都中美の組織構成及び各部の活動内容

※24年度と組織構成変更なし

## ■組織構成と分担内容



平成25年度 東京都中学校美術教育研究会組織(案)

東京都中学校美術教育研究会				
副会長	会 長	殿村 靖廣	葛飾・大道中	
	関連団体担当	全造連	永関 和雄	町田・町田三中
		全中美	正留 久巳	日野・三沢中
		関プロ	牧井 直文	中野・緑野中
		中文連	曾根 愷行	東大和・第一中
	事務局担当	香村 智	八王子・中山中	
	教科研究部担当	研修A	大野 雅生	西東京・田無四中
		研修A	曾根 愷行	東大和・第一中
		研究A	中村 一哉	府中・府中五中
		研究B大会	萩原 和彦	町田・山崎中
研究B		菊田 寛	墨田・両国中	
研究B		平内利光	大田・馬込東中	
広報部担当	須藤 昭人	日野・第四中		
	齋谷佳世子	足立・竹の塚中		
公美展担当	川崎 達也	東村山・七中		
名簿作成担当	曾根 愷行	東大和・第一中		
	半田 道夫	東大和・第五中		
会計監査担当	古田 博己	奥多摩・古里中		
	林 憲吾	大田・出雲中		
事務局	局長	伊藤 範彦	墨田・墨田中	
	副局長・副	上野目浩一	港・六本木中	
		市場陽一郎	八王子・横山中	
	副局長	宮越 一昭	杉並・東原中	
	局員	福島 淳子	町田・金井中	
		河田あすか	日野・第三中	
		矢野 芳幸	江戸川・小岩一中	
	担当会員	部長	長尾 菊絵	西東京・ひばりが丘
			中村伊佐夫	町田・小山中
副部長・副		増田 裕子	板橋・桜川中	
		濱脇みどり	西東京・田無一中	
副部長		佐藤真理子	大田・南六郷中	
		松尾 美恵	中野・中野中	
		高崎美也子	江東・深川四中	
		三浦 悦子	足立・青井中	
		深見 響子	世田谷・上祖師谷中	
		倉科 幸雄	豊島・西池袋中	
		猪口 正和	杉並・井草中	
		安島 典子	狛江・狛江四中	
		中村みどり	武蔵野・六中	
		石井恵美子	文京・第三中	
		齋井奈津子	大田・矢口中	
		松尾 英治	大田・貝塚中	
		坂東由香里	足立・第十四中	
		島山 真理	八王子・栢田中	
		平岡 紀子	足立・第一中	
		川原寛之	清瀬・第四中	
		内田善人	中野・南中野中	
		部長	志手 伸圭	足立・淵江中
石黒 晋			世田谷・尾山台中	
副部長・副		奥井 伸	墨田・桜塚中	
		福田龍郎	杉並・中瀬中	
部員		大村志保子	墨田・立花中	
名簿作成担当		倉科 幸雄	豊島・西池袋中	
	末永 幸歩	東大和・第一中		
	松村 正博	東大和・第三中		
行事部	部長	猪口 正和	杉並・井草中	
	副部长	倉科 幸雄	豊島・西池袋中	
会計	太田 幸司	葛飾・立石中		
	前田 正恵	墨田・両国中		
全国造形教育連盟(全国連)				
委員長	永関 和雄	町田・町田三中		
都代表	殿村 靖廣	葛飾・大道中		
	菊田 寛	墨田・両国中		
事務局	上野目浩一	港・六本木中		
	佐藤真理子	大田・南六郷中		
東京都造形教育協議会(都協議)				
理事	殿村 靖廣	葛飾・大道中		
	菊田 寛	墨田・両国中		
	永関 和雄	町田・第三中		
	中村 一哉	府中・第五中		
	香村 智	八王子・中山中		
	萩原 和彦	町田・山崎中		
委員	伊藤 範彦	墨田・墨田中		
	宮越 一昭	杉並・東原中		
	坂東由香里	足立・第十四中		
	志手 伸圭	足立・淵江中		
全国中学校美術教育連盟(全国美)				
理事	正留 久巳	日野・三沢中		
事務局	菊田 寛	墨田・両国中		
関東甲信越静地区造形教育連合(7/10)				
理事長	牧井 直文	中野・緑野中		
事務局長	河田あすか	日野・第三中		
委員	菊田 寛	墨田・両国中		
	殿村 靖廣	葛飾・大道中		
	大野 雅生	西東京・田無四中		
	香村 智	八王子・中山中		
事務局員	上野目浩一	港・六本木中		
	伊藤範彦	葛飾・桜道中		
	佐藤真理子	大田・南六郷中		
	吉田 諭司	中野・緑野中		
	志手 伸圭	足立・淵江中		
公立学校美術展(展)				
運営委員長	川崎 達也	東村山・七中		
委員	千頭和正巳	東村山・第六中		
	伊藤 勇司	墨田・文花中(夜間)		
	大出 和広	杉並・天沼中		
	高野 朱未	練馬・開進第三中		
中学校文化連盟委員(中文連)運営委員				
評議委員	曾根 愷行	東大和・第一中		
会員	松村 正博	東大和・第三中		
	高崎美也子	江東・深川四中		
東京都中学校教育研究会(都中研)運営委員				
常任理事	殿村 靖廣	葛飾・大道中		
	曾根 愷行	東大和・第一中		
	香村 智	八王子・中山中		

## 平成25年度 活動方針（案）

### 【活動内容】

- ・異校種間の連続や連携を意識した授業の構築・・・発達段階における造形美術教育
- ・学習指導要領の目標を踏まえた授業の工夫
- ・都中美会員の連携強化のための情報提供と授業実践の紹介

昨年度から新しい学習指導要領の基での授業が行われ、学習のねらいに準拠した授業が実践されています。指導内容の改訂に伴い、それぞれの題材について指導方法の見直しが必要ですが、美術の授業時間の実質的な削減が行われたことにより、内容の充実がさらに求められているところです。また、各地区で学校規模の縮小等が進み、非常勤講師のみの学校が増えたり、若手教員が多く採用され、美術教員の指導力の向上については、機会を意図的に設けて力量を高めていかなければならないことが喫緊の課題となっています。こうした状況の中で、本研究会では、これからの美術教育のあり方を考え、学習指導要領に基づく授業を広く実践し、若手教員育成の面からも授業の交流を進めていかなければならないと考えます。今年度は、全国造形教育研究大会が東京で行われることを機会として、昨年度の取り組みを拡大しながら継続した活動内容としました。これからの造形美術教育を考え、ベテランや若手の美術教員が一丸となって美術教育に邁進できるように、10年ぶりの東京大会を契機としながら、さらなる活動の活性化を図りたいと考えます。

### 【異校種間の連続や連携を意識した授業の構築について】

本年度、「全国造形教育連盟・東京大会」が11月28・29日に行われますが、29日には、2ブロック都中美兼大会として開催します。すでに準備は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学の代表によって進めています。都中美では、高等学校との連携、大学との連携、美術館との連携を考えた授業を行う予定です。数年来、異校種や美術館との連携について研修や実践の機会を設けてきましたが、さらに、子どもの発達段階や成長を見通しながら造形美術教育のあり方を考え、中学校での美術の授業の方向性を探ることができれば良いと考えています。

### 【学習指導要領の目標を踏まえた授業の工夫について】

現在、各地区・各学校では、学習指導要領に基づいた指導方法の研究や評価規準の見直しが進められていることと思います。

今年度は、全国造形教育研究大会が10年ぶりに東京で開催されますが、中学校部の研究発表は2ブロック都中美大会と兼ねた形で行います。2ブロックと都中美の本部とが連携しながら、墨田区立両国中学校を会場に開催されます。一昨年度より「造形美術教育のダイナミズム」～成長と連携～をテーマに準備活動を進めています。この研究大会では、学習指導要領の目標を踏まえた6つの分科会を設定し、テーマに基づいた公開授業と研究協議を予定しています。そして、美術教員の指導力向上を目指す実践的研究になることを目指しています。都中美の教員の資質の向上とともに、これからの新しい美術教育を東京から全国に発信していくことを大きな目標にしています。

また、研修活動では、夏休みに中学校美術ネット「中学校美術 Q&A in 東京」研修会と連携し、美術教育の今日的課題の解決や教材開発、評価に向けた研修を行なうと同時に、東京都の教育研究普及事業にも積極的に取り組み、会員の資質向上を目指していきます。

### 【都中美会員の連携強化のための情報提供と授業実践の紹介について】

学校規模の縮小と共に美術科教員の数が減る一方で、若手教員が徐々に増えてきていることから、教員間の横のつながりを大切にしたいと考えます。そのため、都中美名簿の活用とホームページによる広報活動を推進します。ホームページも、さらに、活用しやすい内容を考え、より多くの会員の方からの教育実践等を収集し、情報発信していきます。そして、研究団体として活発な広報活動を目指します。



## 平成25年度 東京都中学校美術教育研究会活動計画（案）

月 日	活 動 内 容	( 場 所 )
4月 20日	都中美 教科研究部会 25年度予定について	(府中・第五中)
5月 2日	都中美 事務局・25年度総会準備・打合せ	(墨田・両国中)
5月20日	第31回都中美2ブロック大会実行委員会	(墨田・両国中)
5月21日	総会・研修会 24年度活動報告・決算報告、25年度活動方針・組織・予算計画 研修会 講演 「新しい芸術表現と美術教育」 講師 折元立身 氏	(東京芸術劇場)
6月上旬	東京都造形教育協議会理事会 25年度活動、校種間連携 担当理事・役員参加	(墨田・両国中)
6月上旬	第31回都中美2ブロック大会・研究授業担当者会議	( 未定 )
6月29日	関東甲信越静地区都県代表者会議・近隣県との情報交換	(墨田・両国中)
7月下旬	全造連東京大会・校種別会議 第31回都中美2ブロック大会実行委員会・局部会	(墨田・両国中)
8月1日 ～2日	都中美夏季研修会 研修テーマ(仮題)・・・「授業の質の向上と美術教育の価値を伝える」 ○中学校美術ネット 「中学校美術 Q&A in 東京」研修会参加による授業力向上研修	(墨田・両国中)
8月下旬	第31回都中美2ブロック大会・研究授業担当者会議	( 未定 )
9月中旬	全造連東京大会・校種別会議(含2ブロック大会準備会議)	(墨田・両国中)
10月 日	都中美 会長・副会長研修会	(墨田・両国中)
11月13～ 14日	第53回 関東甲信越静地区造形教育研究大会 茨城大会(水戸) 大会テーマ	( )
11月29日	第31回東京都中学校美術教育研究会第2ブロック大会 研究テーマ「造形美術教育のダイナミズム」～成長と連携～ 記念講演・講師 文部科学省教育課程課教科調査官 東良雅人氏	(墨田・両国中)
12月下旬	都中美報告書作成会 全造連東京大会・校種別会議(研究部会・編集部会)	( 未定 )
12月下旬	都中美副会長・役員会	( 未定 )
2月9日 ～14日	公立学校美術展(都展) 8日搬入 9～14日会期 14日午後搬出・片付け	(東京都美術館)
2月 中旬	全造連東京大会・都中美大会運営委員会反省会	(墨田・両国中)
3月 下旬	都中美 事務局・専門部部長研修会 教科研修 25年度活動方針・組織の検討	(墨田・両国中)
3月 26日	会長・副会長会(25年度の計画確認)	(墨田・両国中)

## 平成25年度 収支予算書(案)

### 収入の部

科 目	収 入 額 (円)	備 考
会 費	808,000	会費等
補 助 金	0	
寄 付 金	0	
雑 収 入	0	
前年度繰越金	1,460	
その他 繰金	0	
合 計	809,460	

### 支出の部

科 目	(経費の区分)	支 出 額 (円)	備 考	
補助事業に要する経費	研究大会及び研修会	諸 謝 金	50,000	研修会講師謝礼
		旅 費	0	
		借 料・損 料	19,000	26年度芸術劇場予約金
		印 刷 製 本 費	300,000	大会紀要印刷
		会 議 費	6,000	会場使用料・機材借用料
		消 耗 品 費	130,000	事務用紙・封筒・インデックス等
		通 信 運 搬 費	16,000	資料発送費
		小 計	521,000	
	研究調査	諸 謝 金	0	
		旅 費	50,000	茨城県実践研究会取材費
		資 料 費	20,000	関東ブロック大会資料代
		印 刷 製 本 費	0	
		賃 金	0	
		会 議 費	5,000	研究調査負担金
		消 耗 品 費	12,000	事務用品費
		通 信 運 搬 費	5,000	ネットサービス費
	小 計	92,000		
	図 研 究 書 用	図 書 購 入 費	0	
		小 計	0	
	行 研 究 成 果 刊	印 刷 製 本 費	0	
		通 信 運 搬 費	10,000	刊行物運送費
		小 計	10,000	
	計		623,000	
	その他事業費・事務局費		186,460	名簿作成・諸団体加盟費
	合 計		809,460	

# 東京都中学校美術教育研究大会の運営について

1. 東京都中学校美術教育研究大会（以下、研究大会と称する。）は、東京都の中学校における美術教育の充実・発展と美術科教員の指導力の向上を目指して、東京都中学校美術教育研究会が主催し、毎年、実施するものとする。
2. 研究大会の実施にあたっては、東京都の全区市町村を別表に定める11の研究ブロックに分け、ブロックごとの輪番で開催することにより、全都の美術教育の水準の維持と向上を図るようとする。
3. 研究大会の開催ブロックは、原則として1ブロックごととし、3年間で区部2ブロックに対して市町村部1ブロックの割合で輪番開催を原則とする。ただし、市部の第8、第9、第10ブロックのみは、3ブロック合同開催とする。
4. 研究大会の実施にあたっては、東京都中学校美術教育研究会会長の依頼により、開催ブロック内の区市町村の協議に基づき実行委員会を組織し、推進することとする。
5. 実行委員会には、原則として、実行委員長、副実行委員長および事務局、研究局、編集局、庶務局を置き、それぞれの局には局長を置いて研究大会を運営する。
6. 実行委員会は、東京都中学校美術教育研究会と連携を図りながら、実行委員長、副実行委員長ならびに事務局長を中心として、研究大会の準備から報告に至るまでの一切を運営、維持する。
7. 研究大会の実施にかかる費用については、東京都中学校美術教育研究会から支出される負担金のほか、開催ブロックの区市町村教育委員会の協力のもと、1校あたり1万円の分担金の拠出を得て運営するものとする。
8. 上記、大会の運営にかかる費用については、研究大会実施後、大会報告書とともに、開催区市町村の教育委員会教育長に報告するものとする。



## 都中美 研究ブロック区分

第1ブロック	千代田（2校）・港（10校）・品川（15校） 大田（28校）	計55校
第2ブロック	新宿（11校）・目黒（10校）・世田谷（29校） 渋谷（8校）	計58校
第3ブロック	中野（11校）・杉並（23校）・練馬（34校）	計68校
第4ブロック	文京（10校）・豊島（8校）・北（12校） 板橋（23校）	計53校
第5ブロック	中央（4校）・台東（7校）・荒川（10校） 足立（37校）	計58校
第6ブロック	墨田（11校）・江東（23校）・葛飾（24校） 江戸川（33校）	計91校
第7ブロック	八王子（38校）・町田（20校）・日野（8校） 多摩（9校）・稲城（6校）	計81校
第8ブロック	武蔵野（6校）・三鷹（7校）・府中（11校） 調布（8校）・狛江（4校）	計36校
第9ブロック	立川（9校）・昭島（6校）・小金井（5校）・小平（8校） 国分寺（5校）・国立（3校）	計36校
第10 ブロック	東村山（7校）・西東京（9校）・清瀬（5校）・東久留米（7校） 武蔵村山（5校）・東大和（5校）	計38校
第11 ブロック	青梅（11校）・福生（3校）・あきる野（6校） 羽村（3校）・西多摩（7校）	計30校
島 嶼	大島（3校）・利島・新島・式根島・神津・三宅・御蔵島・ 大賀郷・富士・三原・青ヶ島・小笠原・母島	計15校

25年度 全619校

# 都中美大会 一覧表

S58/11/18	第1回 品川区 品川総合教育会館	感動をもって創り出す力を高める美術教育
S59/11/20	第2回 府中市 府中市立教育センター	未来を拓く人づくりを目指す美術教育
S60/11/27・28	第3回 豊島区 豊島区立千川中学校 関プロ大会と合同大会	素材と創造者たち
S61/10/9	第4回 中野区 中野区立第七中学校	創造意欲をおこさせ表現力をたかめる授業の進め方
S62/10/9	第5回 立川市 立川市立第九中学校	崩壊か、低迷か、創造か
S63/11/25	第6回 新宿区 新宿区立西戸山中学校 新宿区立早稲田小学校 都図研と合同大会	想像の大地をめざして ～伸びる・ふれあう・美術の根～
H1/10/20	第7回 北区 北区立神谷中学校	やる気見つけた！ ～みずからの生き方につながる造形活動をめざして
H2/11/22	第8回 新宿区 神楽坂エミール	感動が人を創る ～自らをたがやす生徒の育成をめざす美術教育～
H3/10/22	第9回 第5ブロック 荒川大会 荒川区立南千住第二中学校	創るよろこび、生きるよろこび ～なぜ美術教育か～
H4/10/20	第10回 第6ブロック 江戸川大会 江戸川区立小松川第二中学校	感性が輝くとき ～今、創造の意味を考える～
H5/11/18	第11回 第7ブロック 八王子大会 八王子市立浅川中学校	主体的表現と個性の輝きをもとめて ～心の教育と21世紀へ向けての美術教育～
H6/10/4	第12回 本部大会 東京国立近代美術館・神楽坂エミール	新たな美術教育の展開を求めて ～美術館との連帯と鑑賞教育の可能性～
H7/11/14	第13回 第8・9・10ブロック 北多摩大会 武蔵野市立第六中学校	きらめく感性 あふれる創造 ～子どもが伸びる授業づくりをめざして～
H8/10/4	第14回 第1ブロック 大田区全造連・関プロ合同大会 大田区民センター	美術と環境一心の軌跡
H10/1/22	第15回 第2ブロック 世田谷大会 世田谷美術館	根幹と広がり ～美術を好きになるには一立体表現を通して～
H11/1/28	第16回 第3ブロック 練馬大会 練馬区立豊玉第二中学校	現在、美術は増殖する ～学校から地域へ生涯へ～
H11/11/19	第17回 第11ブロック 西多摩大会 西多摩郡日之出町立大久野中学校	地域からの発想 ～自然・伝統・生活を見つめて～
H12/11/16	第18回 第4ブロック 板橋大会 板橋区立加賀中学校	美術の時間は発見ワールド ～21世紀の美術は感性を呼び覚ます～
H13/11/22	第19回 第5ブロック 足立大会 足立区立第十四中学校・西新井ギャラクシティ	豊かな感性が21世紀を創る ～人権・共生・環境教育の原点としての美術～
H14/11/21	第20回 第6ブロック 墨田大会 墨田区立墨田中学校	美術、生命の泉 ～湧き出す想像、広がる創造～
H15/11/28	第21回 第7ブロック 八王子市全造連・関プロ合同大会 八王子市立長尾中学校	創ることは生きること ～人間・さらなる成長をめざして～
H16/11/5	第22回 第1ブロック 品川大会 品川区立富士見台中学校	観る 鑑る 未来る ～転換期における美術教育～
H17/11/18	第23回 第2ブロック 新宿大会 新宿区立鷺合第二中学校	創造は生徒を変える
H18/11/17	第24回 第3ブロック大会 中野大会 中野区立中野富士見中学校	みんなの美術 ～感動と創造は未来を拓く～
H19/11/08・09	第25回 第4ブロック大会（関東プロ合同） 文京区立茗台中学校	つくる喜び みる喜び ～未来を心豊かに生きるために～
H21/01/16	第26回 府中大会 府中市立浅間中学校・府中美術館	人間力をはぐくむ美術教育～いま、求められる創造性～豊かな「かかわり」を生み出す美術の授業
H21/11/13	第27回 葛飾大会 葛飾区立上平井中学校	「メッセージ」 ～色・形・ことば からの発信～
H22/11/9	第28回 荒川大会 荒川区立第三中学校	「イメージを形に」 ～鉛筆デッサンから自己表現まで～
H24/1/13	第29回 町田大会 町田市立第二中学校 町田市立国際版画美術館	「自分らしさを創る美術教育」 ～生涯にわたり美術を楽しむ感性と能力～
H24/11/16	第30回 品川大会 品川区立富士見台中学校	「美術教育の今」 ～造形活動の資質・能力を考える～